



# 東洋紙工株式会社

## 2015年度 環境活動レポート (対象期間:2015年5月21日～2016年5月20日)



**ダンボールを通じて社会貢献!  
環境を考える 段ボール会社!**

作成日 2016年9月30日

## □ ごあいさつ

企業活動を進めるに当たり、環境保全とりわけ地球温暖化対策はさけて通れないと認識しております。  
誰かが考えてくれる、自分には関係ないではすまされないことです。  
私たちにできることを「考えよう!」「実行・前進しよう!」  
で取り組んでいます。

東洋紙工株式会社  
代表取締役 田村 耕作

## 環境方針

### < 環境理念 >

当社は、ダンボールの加工業を通じて社会貢献を図ります。  
リサイクルの優等生である素材「ダンボール」を扱っており、資源の大切さを認識し、私達が進んで環境保全維持活動に取り組めます。

1. 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 使用原材料の不良率低減による省資源、廃棄物の減量の推進
3. 水資源の節水
4. 事務用品のグリーン購入の推進
5. 環境に配慮した製品の開発
6. 工場周辺の清掃活動の推進
7. 化学物質使用量の削減

また、環境関連法規制及び当社が約束したことを遵守します。

制定日：2012年5月20日

代表取締役 田村 耕作

□ 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
東洋紙工株式会社  
代表取締役 田村 耕作
- (2) 所在地  
本 社 大阪府四條畷市大字中野 4 9 1 番地  
本社工場 同上
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 工場長 瀬尾 章二 TEL : 072-878-5541  
担当者 事務部 林田 裕美子 同上
- (4) 事業内容  
ダンボールケース及び紙器の製造・販売  
主要製品：ダンボールケース

(5) 事業の規模

本社および本社工場	
製品出荷額	4億円
主要製品生産量	1680トン
従業員	23名
延べ床面積	1587m <sup>2</sup>

- (6) 事業年度 5月21日～翌年5月20日

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 東洋紙工株式会社  
対象事業所： 本社・工場

□ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	55,479	52,788	48,872	50,669	49,525	46,186
廃棄物排出量	kg	9,000	5,440	6,805	6,248	3,205	3,602
一般廃棄物排出量	kg	1,000	1,440	1,005	869	778	662
産業廃棄物排出量	kg	8,000	3,970	5,800	5,379	2,427	2,940
総排水量	m <sup>3</sup>	456	442	503	556	389	385

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.355 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

□ 環境目標及びその実績

項目	年度	基準値	2015年度		達成状況	2016年度	2017年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	36,761	34,923	31,337	○	34,555	34,188
	基準年	(2011年)	95%	85%		94%	93%
液化石油ガス (LPG) の二酸化炭素削減	kg-CO2	3,714	3,528	3,049	○	3,491	3,454
	基準年比	(2011年)	95%	82%		94%	93%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	12,314	11,698	11,799	○	11,575	11,452
	基準年比	(2011年)	95%	96%		94%	93%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	52,789	50,150	46,186	○	49,622	49,094
一般廃棄物の削減	kg	1,005	955	662	○	945	935
	基準年比	(2012年)	95%	66%		94%	93%
産業廃棄物 廃インキの削減	kg	1,620	1,539	1,080	○	1,523	1,507
	基準年比	(2011年)	95%	67%		94%	93%
産業廃棄物 廃プラスチックの削減	kg	700	665	550	○	658	651
	基準年比	(2011年)	95%	79%		94%	93%
産業廃棄物 廃木くずの削減 (木型・パレット)	kg	1,650	1,568	1,310	○	1,551	1,535
	基準年比	(2011年)	95%	79%		94%	93%
節水	m <sup>3</sup>	441	419	385	○	415	410
	基準年比	(2011年)	95%	87%		94%	93%
化学物質 溶剤シンナー使用量削減	kg	8.15	7.74	3.06	○	7.66	7.58
	基準年比	(2011年)	95%	37%		94%	93%
化学物質 溶剤POC2使用量削減	kg	20.65	19.62	0.00	○	19.41	19.20
	基準年比	(2011年)	95%	0%		94%	93%

項目	年度	基準値	2015年度		達成状況	2016年度	2017年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
グリーン購入		2012年度 調査実施	4品目 購入	10品目 購入	○	5品目	6品目
製品への環境配慮 エコ素材ダンボールの優位性を PRする			試作 提案 4件	試作 提案 5件	○	継続	継続
社会貢献 地域清掃・子ども教室 展示会・啓蒙活動			3ヶ月に 1回実 施	2回実施  8回開催	○	継続	継続

□ 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価 (結果と次年度の取組内容)
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>			
・空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	△	強化	結果 目標は達成できた デマンド計設置により、目標以上の効果を達成できた。 次年度 順次、蛍光灯をLEDへ変更する。 新電力会社の検討。
・夜間、休日はパソコン・プリンターの主電源を切る	△	強化	
・昼休みの工場消灯・トイレ・休憩室のこまめな消灯	◎	継続	
・デマンド系の設置・検討	◎	継続	
・蛍光灯からLEDへ25本交換	◎	継続	
<b>液化石油ガス (LPG) の二酸化炭素削減</b>			
・暖房の適切な温度管理	△	強化	結果 目標は達成できなかった 夕方6時以降の不在時消火を達成できた。 次年度 個人用電気スポットヒーターの増設を検討する。
・不必要な場所の暖房を止める	○	継続	
・(夏場のお茶沸かし量の削減	×	継続	
・事務所内はガスストーブを控え個人用電気ヒーターを使用	○	継続	
<b>自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減</b>			
・アイドリングストップ	○	継続	結果 目標は達成できた PHEV車を導入できた。 次年度 近距離の営業・配達が増加しているので更に、アイドリングストップを心がける。
・鉄道の活用	○	強化	
・近距離は自転車を利用する	○	継続	
・エコカーの検討・導入(価格と効果の調査)	◎	継続	

□ 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価 (結果と次年度の取組内容)
<b>一般廃棄物の削減</b>			
・分別の徹底	○	継続	結果 目標は達成できた 次年度 木くずを廃棄物から有価物にできないか。 3S強化と工場内ライン引きを行う。
・文章の電子化に取り組む	△	強化	
・3S (整理・整頓・清潔) 活動の実施	×	強化	
・不要コピー紙のリサイクル	○	継続	
・コピー及びプリンターのカウント調査	◎	継続	
<b>産業廃棄物 廃インキの削減</b>			
・色替え回数の削減	○	強化	結果 目標は達成できた 次年度 1回洗浄実現の為、洗浄ロールの交換を検討する。
・洗浄回数の削減 (1回洗浄)	○	継続	
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	強化	
・インクの集約と使い切る事 (メンテナンス回数の適正化)	○	継続	
<b>産業廃棄物 廃プラスチックの削減</b>			
・素材別ボックスの設置	○	継続	結果 目標は達成できた 次年度 印版・ブランケットのリユースが進んでいないので強化する。
・印版やブランケットのリユース	○	強化	
・過剰プラスチックの転売先を探す	△	強化	
<b>産業廃棄物 廃木くず (木型・パレット) の削減</b>			
・素材別ボックスの設置	○	強化	結果 目標は達成できた 新規木製パレットの発注はゼロ。 次年度 木くずを廃棄物から有価物にできないか。
・リサイクル業者の開拓	×	継続	
・修理板で修理して長く使用する	○	継続	

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
<b>節水</b>			
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	◎	継続	結果 目標は達成できた うがい用に簡易紙コップの設置、うがいマニュアルの掲示。 次年度 節水弁・節水シャワーの取付
・節水弁取り付け（節水コマ）	×	強化	
・やかん冷やしに流水を使わない	◎	継続	
・水冷式以外のクーラーの価格と効果の調査	△	強化	
<b>化学物質 溶剤シンナー使用量削減</b>			
・容器の蓋の徹底	○	継続	結果 目標は達成できた 次年度 使用量の適正化の基準を考える
・使用量の適正化	△	強化	
<b>化学物質 溶剤POC2使用量削減</b>			
・容器の蓋の徹底	○	継続	結果 目標は達成できた 本年度POC2購入ゼロ。 次年度 ウエスの代用品を探す
・使用量の適正化	○	継続	
・代替物質の検討	△	継続	
・計量カップで使用量を計る	×	継続	
<b>グリーン購入</b>			
・カタログ調査	○	強化	結果 目標達成できた グリーン購入品を意識する事で今までの購入品を見直す機会につながった 次年度 更に意識の向上を計る
・プリンタートナーリサイクル品の購入	◎	継続	

□ 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
<b>製品への環境配慮</b>			
・イベント・展示会を行う (ダンボール素材の啓蒙と紹介)	◎ ◎	強化 継続	結果 目標は達成できた 地域外への販売もスタートできた 次年度 デザイナーと共働し、製品数を増やしていきたい
<b>社会貢献</b>			
・地域児童公園の清掃・除草作業	△	継続	結果 目標は達成できた。 次年度 今後も地域貢献活動を継続し、市役所とも連携していきたい。
・地域社会貢献活動	○	継続	

□法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	要求される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物 適正に処理	○
廃棄物処理法	産業廃棄物(木くず・廃プラ・廃油等)適正処理委託	○
騒音規制法	空圧機	○
フロン回収破壊法	業務用空調機、エアドライヤの廃棄時での適正処理委託	○
グリーン調達基準	グリーン購入法適合マーク付商品の購入	○
家電リサイクル法	廃棄時に適切に処理	○
自動車リサイクル法	営業用乗用車の廃棄時適正処理委託	○
資源有効利用促進法	廃棄時に適正処理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

## □ 代表者による全体の評価と見直し

2013年1月30日にエコアクション21の認証を受けて約3年半が経ちました。東北震災後、継続してエネルギー問題が取り沙汰されてきました。私たちは従来にもまして細かいところまで配慮することが必要と考えました。本年は電力（電気代）に重点を置き、取り組みを進めてまいりました。デマンド計の設置によるこまめな節電を実施したおかげで目標を大きく上回る削減結果を出すことができました。継続的に蛍光灯からLED照明への転換やPHEV車両の導入も行うことができました。毎月の電気使用量・デマンドピーク・電気代など一覧表にすることで意識も高まったと思います。今後も電気エネルギーの使用削減を継続して参ります。

環境エコ製品「ダンボール」の広報活動・製品開発では新たに大学との連携・市役所との連携を始めることができました。大阪工業大学及び大阪欄間工芸協同組合さまと連携し伝統工芸の欄間をダンボールで製作展示する催しを実施しました。地元四條畷市役所へ生ゴミ削減活動として「ダンボールコンポスト」計画提案を行いました。次年度取り組みがスタートできる予定です。

ダンボールを活用したイベントにも積極的に参加し、リサイクル素材ダンボールの特徴を発信して参りました。子どもさんから大人まで楽しく実感してもらえるようにダンボールグッズや、工作キットの形で提案しています。手で触れていただくことでより素材の良さや、リサイクル・環境のことを意識して貰えればとの想いです。

今後も私たちにできることを継続的に取り組み進んでいきたいと思ひます。

以下に本年度実施した環境活動・省エネ活動・社会貢献活動をご報告致します。

弊社活動報告は、東洋紙工ホームページ  
<http://www.toyoshiko.jp/>

東洋紙工のブログページでご紹介しています。  
<http://www.blog.goo.ne.jp/toyoshiko-blog/>

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## □ 環境活動・省エネ活動・社会貢献活動の紹介

リサイクル素材を扱う当社では、率先して環境への取り組みを実施し、またその成果を広く広報していく活動を行いました。

本年度実施した事例をレポートいたします。

### 1：省エネ対策活動の紹介

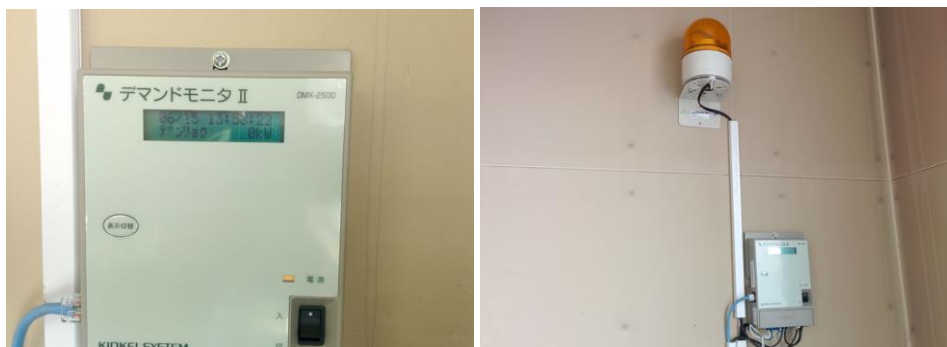
#### 1-1：デマンド計の設置

#### 1-2：蛍光灯をLED照明に切り替え

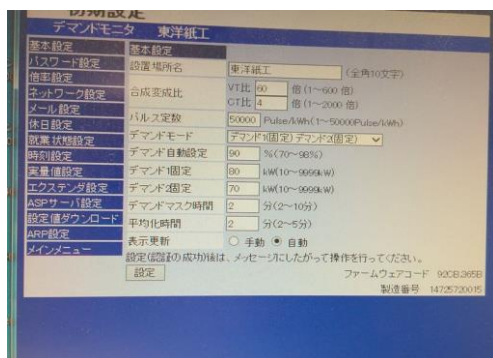
#### 1-3：PHEV車両導入・自販機をヒートポンプ型へ変更

#### 1-1：デマンド計の設置

2015年06月電気使用量を細かく管理するためにデマンド計を設置しました。



ピークデマンド値推定機能付きのため、想定値を超える使用量がつづくと同転灯が点灯してお知らせしてくれます。



細かな設定が可能になっており目標値もセットできます。おかげさまで設置1年で年間10%の使用量削減が達成できました。98,034KWh→88,274KWh/年間へ250万円→217万円/年間へピークデマンド55→48へ下げることができました。

#### 1-2：蛍光灯をLED照明に切り替え（継続事業）

昨年度より実施している蛍光灯からLEDへの交換を継続実施しました。



明るいです！今回も20本の交換を行いました。

消費電力は従来：36W x 20本+安定器6W x 20本=840W

今回のLEDの場合：16W x 20本+安定器なし=320Wとなります。

60%以上電気使用量を削減できることとなります。



### 1-3 : PHEV車両の導入・自販機をヒートポンプ型へ変更



電気で走る事ができるPHEV車両を導入しました。  
会社にも普通充電設備を設置しました。



飲料の自販機を省エネタイプの  
LED&ヒートポンプ型販売機に  
変更してもらいました。

## 2 : 環境配慮製品の広報活動や展示会出展

### 2-1: 市民団体と市役所と連携した「ダンボールコンポスト」提案



生ゴミ削減活動の啓蒙活動として  
市民団体様と市役所へダンボールコンポストの提案を実施しました。  
次年度、官民産連携の取り組みをスタート予定です。

## 2-2: 大学+伝統工芸+東洋紙工の連携事業

大阪の伝統工芸「欄間」の広報活動を大阪工業大学と連携し  
オープンキャンパスや学園祭でエコ素材ダンボールの欄間展示をおこないました  
協力：大阪欄間工芸協同組合様



大阪工業大学オープンキャンパスにて、大阪の伝統工芸の周知活動と  
ダンボール欄間の展示。



本物欄間とダンボール欄間の前で  
学生のみなさんと記念撮影。



学園祭での和風飾り工作  
体験コーナー開催



保育園にて大学生主体の欄間風  
工作教室開催

## 2-3: エコ素材ダンボールの広報活動・展示会・イベント



連携した学生のみなさんと  
ビジネスフェア出展。



四條畷市「環境フォーラム」出展  
リサイクルマーク何種類知ってますか？クイズ他開



アートイベントにてダンボール  
紙相撲大会開催。  
ダンボールを使ったイベント。



小学校でダンボール工作教室開催  
エコで加工しやすいダンボールで  
自由な創作活動！

## 3：社会貢献活動

児童公園の清掃と除草作業・中学生の職業体験



近隣の児童公園の清掃と除草作業を実施。毎年の恒例行事となってきました。



地元中学校の職業体験に協力。  
身近なエコ素材「ダンボール」の生産過程を学んでもらいました。

□その他・防災訓練の実施

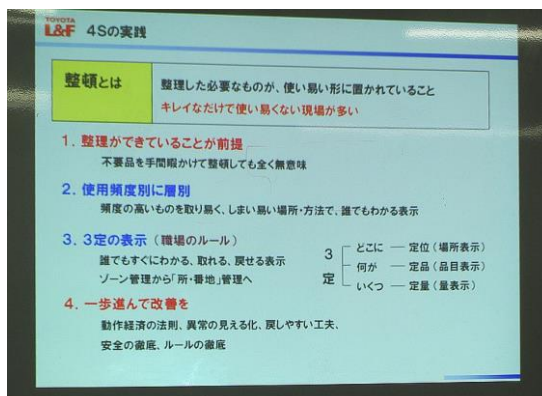
地震発生を想定した防災避難訓練を実施しました。  
2013年9月5日「大阪880万人訓練」を活用し、実施。

携帯電話からの「緊急地震速報（訓練）」の音が鳴ると共に、  
身の安全を第一にしつつ、集合場所への時間計測を行いました。

今回約2分で集合できました。  
訓練周知が進み全員スムーズな避難ができました。

□その他・安全講習会と3S+α活動の実施

2015年7月17日  
従業員で「安全と4S講習会」を実施しました。  
講師：トヨタL&F近畿販売様



安全のためにも、4S活動を行い、習慣づけ、安全第一の意識を高めよう。

今後も定期的に、安全講習会を実施し、事故ゼロを推進します。

次回レポート発行予定：2017年8月頃予定